



大平宗也社長(左)と板東巧氏

ハローパーツ(大平宗也社長、徳島市)は徳島県下を中心に、ボデーショップなどで不要となった中古パーツを集め、インターネットのヤフーオークションで委託販売を展開、着実に販売実績を伸ばしている。

取り扱い品目は、バンパー、ヘッドランプ、テールランプ、タイヤ、ホイールなどの外装部品が中心で、700~800点の在庫の中から多いときで500~600点を出品しており、日本全国から入札、購入できる。

■要らない物を要る所へ橋渡し

商品となる部品は、ボデーショップが交換などで取り外し、再利用するために保管しているものが中心。「バンパーに付いた小さな傷でも保険修理では交換になることが多い。交換

した部品は少し手を加えるだけでまた使えるケースが少なくなく、なかには新品同様のものもある」と大平社長。また、「工場の片隅で眠っている不要パーツも、全国を探せば必要としているところがある」とし、ハローパーツがその橋渡し役を担うことで、部品を委託した工場はうまくいけば廃棄物を利益にかえることができ、ユーザーは安価でパーツを手入できる。

■オークションならではの工夫で顧客を獲得

オークションでは、新品・未使用のS、キズの程度によりA~D、ジャンク品・部品取り用のJと6段階の評価を付け評価基準とともに明示しているため、ユーザーは必要とするランクのパーツを納得して購入できるようになっている。実物を確認できないインターネットを通じた販売は、売り手と買い手の互いの信頼が重要

になるだけに、たとえリサイクル品であろうとユーザーが安心して選べるよう工夫している。

「オークション開始価格は大体1,000~3,000円ぐらいが主体で、多くの人に参加してもらいやすい設定にしている」と、出品などの管理を担当する板東巧氏。送料は落札者負担だが、「落札金額にもよるが、それを考慮しても安価で部品を手に入れることができる」という。

インターネットオークションなので一般の人でも閲覧や購入が可能だが、注文の約6割がボデーショップなど業者からのもの。今では、10点くらい

をまとめて落札するケースもあるという。同社では「ボデーショップは中古パーツを使って金額を抑えた修理を顧客に提供することができる。また、リサイクル部品の使用で環境に配慮した工場をアピールすることもでき、そうしたメリットを評価してもらっているのではないかとしている。

詳しくは同社ウェブサイト、<http://www.helloparts.com>まで。

